

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	三田市	代表者名	田村 克也
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	地域福祉課
担当者役職	係長	担当者氏名	池田 宜功
住所	669-1595 兵庫県三田市三輪2丁目1番1号		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	民生委員・児童委員担い手確保対策事業
概要	民生委員・児童委員の担い手確保を目的としたICTを活用した広報活動について助言をいただきたい。		
支援を求める分野	ICT活用広報		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年8月19日	支援・助言&講演(実地)	9時30分	17時30分	80
				活動時間(分)	400
2-2. 派遣場所	会場名	三田市総合福祉保健センター	最寄駅	JR三田駅	
	所在地	兵庫県三田市川除675番地	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 あい子
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	PR動画及び啓発チラシ等の広報資材を活用した長期的な広報展開や民生委員の負担軽減に向けた活動記録のデジタル化について、専門的な知見から多様な考え方を伺うことができた。また、広報の役割を担う民生委員・児童委員を対象としたICT活用広報についての研修会を実施することで、民生委員・児童委員自身が主体的に広報活動に取り組めるような環境づくりに向けた意見交換を行い、委員同士で協力し合う連携体制について共通認識を図ることができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	19人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	3	0	16	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	【担い手確保対策事業】 ○PR動画 ・民生委員のことを知らない人や関心のない人であっても興味を持って見ることができ、楽しみながら民生委員を理解してもらえるような動画を作成できるか ・また、動画制作は業者委託により実施するため、市の方針をくみ取れる業者と契約を締結できるか ○広報部会 ・デジタルの知識を有する民生委員が少ない中で、委員自身が自主的にICTを活用した広報活動に取り組めるような体制を構築できるか ○民生委員活動の負担軽減 ・紙媒体での各種申請・通知が多い中で、民生委員にとってハードルが低く継続的に使用できるデジタルツールを活用することで委員活動の負担軽減に繋げられるか
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・ICTを活用した広報活動の展開(PR動画等魅力あるコンテンツの効果的な発信手段の確立) ・広報担当となる民生委員が継続的かつ主体的にICTを活用した広報活動を展開できるような体制の構築 ・デジタル化の推進による委員活動の負担軽減

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> PR動画の作成に係る周知・啓発イベントの開催、及び現在民生委員・児童委員が参加している地域行事や各種会議における啓発チラシの配布など、一斉改選に向けた広報活動だけではなく、長期的な視点で担い手確保に取り組むための事業展開についての助言 デジタルに不慣れな民生委員・児童委員であっても抵抗がなく、自分の適性に合った方法で魅力発信が行えるような環境づくりへの助言 今後、民生委員・児童委員自身が自主的にICT活用広報を展開できる体制を構築するため、広報記事の作成に向けた情報収集の仕組みや、情報発信を行うSNSツールをより多くの人に見てもらおうための広報活動についての助言 委員活動の負担軽減を目的として活動記録を含む各種申請のデジタル化に取り組む上で、デジタルツールの活用が困難な人を取り残さない導入方法や、操作しやすく負担に感じない申請フォームについての助言 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> PR動画や周知啓発用チラシなど広報資材となり得るツールの作成だけではなく、動画作成に係る新規イベントの開催や既存事業における説明機会の確保など、広報資材を活用した次なる広報展開や候補者への直接的なアプローチについて共通理解を図った。 広報活動を担う民生委員・児童委員を対象とした研修会において、実際にSNSツールを操作しながらデジタルデバイスの利便性や活用方法について伝えることで、ICT活用広報に不安を抱えている民生委員・児童委員がデジタルをもっと身近に感じることができるよう、また、自ら積極的に取り入れて活用していけるように、デジタルデバイスが自分自身の日常生活をより豊かにできるツールであるとの共通理解を図った。 広報記事の作成に係る情報収集の仕組みを確立するため、現在検討中の事務局案を元に課題の整理を行い、民生委員・児童委員にとつての負担が少なく、広報活動への意欲を発信内容に反映できるような収集体制が必要であるとの認識を得た。 三田市民生委員児童委員協議会の公式SNSを運営するにあたり、広報活動と併せて民生委員・児童委員の負担軽減にも取り組むことが不可欠であり、活動記録のデジタル化に係る報告内容の簡素化や、ビデオ通話等デジタルデバイスを活用した見守り活動のあり方等について新たな気づきを得ることができた。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input type="checkbox"/> その他 PR動画作成に係る業務委託契約に必要な仕様書、プロポーザル実施要領及び動画企画書(市で作成したものにアドバイザーからの助言を受け修正・加筆)
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回ICT活用広報について研修会を開催することで、広報の役割を担う民生委員・児童委員にデジタルツールをもっと身近に感じてもらい、ICT活用広報に対するハードルを下げるのが目的であるため。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	<input checked="" type="checkbox"/> ①予算は確保済みであり、年度内に推進する 地域情報化アドバイザーからの助言を受け、PR動画のコンセプトや構成等を明確にし、民生委員の担い手確保に効果的な動画を作成する。また、広報部会においては、ICTを活用した広報活動の体制を構築し、民生委員により主体的な活動を展開する。そのためには、継続的な研修の機会が必要であり、次年度予算の必要性和確保に向けたさまざまな助言を受けた。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	ICTを活用した広報活動の展開及び民生委員の負担軽減に向けたデジタル化の推進を行い、民生委員の担い手を確保する。	
5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 掲載許可 <input type="checkbox"/> 掲載可 <input type="checkbox"/>		
<p style="text-align: center;">なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		
<div style="border: 1px solid black; height: 200px;"></div>		

具体的に記入下さい。
 支援を受けた事業が成果につながり(自治体側に内在していた成功要素)

具体的に記入下さい。
 支援を受けた事業が成果につながり(自治体側に内在していた成功要素)

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

